

日頃より、ファミリーサポートセンターの活動及び、子育て支援センターの運営にご理解、ご協力頂きありがとうございます。今回の通信紙では、10月に実施した3つの研修について報告します。通信紙を通し、ファミサポ活動の一面を知っていただければ幸いです。

北海道大学より川田学先生をお招きし、こども園や小中学校等、子どもの成長に関わる関係機関の職員、まかせて会員さんや両方会員さんに向け、海外の保育について知る機会となりました。

今年度、イタリアやニュージーランドに視察されたご経験から、国ごとの保育や就学の構造が異なることを学びました。イタリアでは「保育室にはガラスの工芸品や木工用具、画材なども出来るだけ本物を用意している」「美術史はその都市の歴史だから」と幼い時から少しずつ生活の中で伝えていくそうです。文化は違っても、健やかな子どもの成長を願う気持ちは万国共通でした。



**海外の保育の現場とは？**

←イタリアの保育室。空間にゆとりがあり、どこの遊び部屋も数分ずつで使えるような環境にあるそう。



**心地よい抱っこでリラックス**



←大人が誰かに抱っこされることは難しいので、床に両足を付けず、両手も椅子に触れずに座り、子どもの前向き抱っこを疑似体験！  
「人とすれ違う時にどんなふうにも子どもは見えているのか？」を検証している様子です。簡単な方法なので、順番に行いました。

町の保健師による子育て講座では、「こころと抱っこ」をテーマに展開しました。赤ちゃんにとって心地よい抱っこの仕方について、実際にお子さんを抱っこしながら、まかせて会員と支援センターを利用する保護者が一緒に学び合いました。

また、色々なタイプの抱っこ紐が市販されていますが、抱かれている子どもたちがどんな風を感じるのか、椅子を活用し、体験する時間もありました。「前向き抱っこは、人込みだと、前から歩いてくる人が迫ってくるように感じた。勢いよく来られたら前向きの抱っこは怖いのかも」と話している方もいました。

6月にも来町頂いた札幌のNPO法人北海道子育て支援ワーカーズより、今回は岡田光子さんを講師にお招きし、「子育て支援の歴史」を教えてくださいました。

子どもに『自分を大切に思う気持ち』を持ってもらうには、まず周りにいる大人も自分を大切にすることが大事だそうです。そこから、周りの人々を大切に思いやる気持ちが育つことにもつながるとい話がありました。具体的なサポートについても学びましたが、支援者だけでなく、子育てをする中でも心にとめておきたい学びでした。



↑同じ説明を聞きながら、それぞれA4の紙を折ったり、ちぎったり。できあがりやが違い、お互いに驚きました。「同じ話を同じ条件で聞いても、受けとり方が変わる。その方に伝わりやすい伝え方を支援者側が知っていればいいよね」と遊びを交えながら教えてくださいました。

**※ファミサポ利用時、双方に安心して活動いただく為、まかせて会員さん及び両方会員さんには、支援センターが企画する講習会及び研修会へ参加して頂き、援助活動をしています。**



申し込み・お問い合わせは...

幌延町ファミリー・サポート・センター

〒098-3221 幌延町栄町7番地2

幌延町子育て支援センター

(幌延町認定こども園内)

受付時間：月～金 9：00～16：00

TEL/町内告知端末機：5-1254

**R5 年度会員数**

(11月17日現在)

- まかせて会員…5名
  - おねがい会員…15名
  - 両方会員………1名
- 合計 21名

**R5 年度活動状況**

(10月末現在)

- 利用実数～1件
- 利用内容～就労の為